

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2016年6月11日(土) 13:30~16:30 (3時間)

■会場

魚住市民センター 2階 会議室

■参加者

27名 (子ども10名、子ども会育成者10名、青年リーダー7名)

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
13:30	あいさつ 明石市連合子ども会育成連絡協議会会長 松原由美子
13:35	オリエンテーション
13:45	お話し「阪神淡路大震災時の魚住地域」
14:30	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
16:30	あいさつ 明石市連合子ども会育成連絡協議会副会長

■プログラム運営チーム

講師(語り部) 明石市魚住地区子ども会会長 真柄謙治
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 7名

■会場の様子



受付



語り部



まちあるき



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・家族で避難するときの行動を話し合う
- ・自分の命を大切にする
- ・学校の友達と話し合って避難所を決めておく
- ・避難所の中に入ってどんなものがあるか見ておく
- ・避難する準備をしておかないと…
- ・保存食を備えておく
- ・大人のいうことをよく聞く